

## 歴史(日清戦争)

朝鮮では、日清両国の対立の中で、政治や経済が混乱したため、①\_\_\_\_\_年、東学を信仰する人々が中心となり、排日を要求して蜂起した(②\_\_\_\_\_戦争)。そして、8月に③\_\_\_\_\_戦争が始まり、日本は勝利し、1895年に④\_\_\_\_\_条約が結ばれた。この条約により⑤\_\_\_\_\_の独立を認め、⑥\_\_\_\_\_半島などを日本にゆずり、多額の賠償金を支払うことなどが決められた。その後、清の弱体化を見て、列強は競って清に進出し、それぞれの勢力範囲をつくっていった(⑦\_\_\_\_\_)。なかでも満州への進出をねらうロシアは、ドイツ、フランスとともに⑧\_\_\_\_\_半島を清に返還するよう勧告してきた(⑨\_\_\_\_\_)。日本はこれを受け入れたが、同時にロシアへの反感が高まっていた。政府も軍備強化に力を入れるとともに、政治の安定をめざした。そこで、議会を円滑に運営しようと考えた伊藤博文は、1900年、⑩\_\_\_\_\_会を結成した。